

第2号報告 2022年度事業計画

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発令されてから早2年となり、この間感染の緩急によって不安定な事業展開となりました。現在も緩やかな感染数の減少と一部は増加傾向にあるなど、今後の動向に注意しながら事業を遂行することになります。

今年度は、法改正により追加される業務への対応としてタスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会を開催いたします。事前にWeb基礎講習(オンデマンド)を修了していただく必要や実技講習は60名の定員での開催となりますので詳しい情報は、ホームページ等で配信します。その他、学術事業や衛生思想事業につきましても各研究班、関連団体と協議しながら計画通り事業を進めてまいります。

さらに、当会は昭和27年(1952年)7月に京都衛生検査技術者会として設立されてから70周年の節目を迎えます。記念行事の開催して今までの活動を振り返るとともに、これからの京臨技の発展を誓いたいと考えています。

2022年度は役員改選の年であり、6名の理事が退任し、6名の理事を新たに迎えることとなります。WebやIT活用を積極的に使用し、つながりのある・京臨技の活動がより身近に感じられる事業を展開して参ります。外部活動の厳しい中ではありますが、事業運営を見極め 臨床検査技師の認知向上、各研修会や品質管理に向けた活動に注力し会員に向けた情報サービスを提供できる組織を構築する考えです。

1. 衛生思想事業

1-1くらしと健康展

「くらしと健康展」は、臨床検査及び臨床検査技師の認知度を京都府民に広く知って頂ける事業であるので、今年度も継続して実施したいと考えます。今年度の開催日は令和4年6月26日(日)京都府医師会館で開催予定です。

1-2京都府医療推進協議会主催イベント

新型コロナウイルスまん延のため活動が休止しています。社会公益活動の一環として活動再開に協力していきたいと考えます。

1-3子宮頸がん啓発活動LOVE49

子宮頸がんに関する啓発や、検診の受診率アップなどは大切なことと考えるため、今年度も啓発活動を継続できるようにしていきます。

1-4全国検査と健康展京都会場(日臨技公益委託事業)

府市民の皆さんに臨床検査と臨床検査技師のことを広く知ってもらい、健康診断の関心を高め、健康増進につなげてもらうことを目的として開催いたします。一人でも多くの方に参加いただけるように創意工夫を凝らした企画を検討します。

1-5府・市民公開講座

継続的に市民公開講演会を行うことで、臨床検査技師の知名度向上や府市民への臨床検査の理解が深まっています。地域社会の人々の健康の保持・増進をはかり、疾病を予防するための企画を検討して参ります。

1-6あやべ食育・すこやかフェスティバル

啓発活動はもちろんですが、臨床検査技師さんコーナーを設けることで知名度向上も期待できることから今年度も企画したいと考えます。

1-7舞鶴市糖尿病講演会

糖尿病の理解を深めて健康増進をはかっていただくことに加えて、超音波検査技術など我々が持つ検査の知識や技術を使った活動を行うことで、臨床検査技師の知名度向上も期待できることから、今年度も企画したいと考えます。

2. 精度管理事業

2-1精度管理事業

地臨技の特色を生かし小回りの利く精度管理調査を実施します。また、京都府医師会が実施している精度管理調査との共同について検討いたします。日臨技の精度管理システムJAMTQCを利用した精度管理調査が定着するように努力します。

2-2合同報告会

京臨技の主な事業として今年度も精度管理調査を実施し、参加施設のベースを引き上げ、レベルアップ、標準化を進めます。今後京都府医師会との精度管理事業合同開催も計画されているため、合同報告会も内容等検討していきます。

2-3 京都府・京都市 京都衛生検査所精度管理専門家会議

今年度も京都衛生検査所精度管理専門家会議への参加、立入検査に同行し協力していきます。

3. 研究講習事業

3-1 学術研究班

今年度も臨床検査の知識・技術の向上を支援する事業計画を策定しました。実技講習会については、開催時期を見極めながら実施を計画します。新型コロナウイルス感染症の状況による事業変更は、残念ながら今年度も継続しますが、WebやIT技術を活用した方法で事業を展開します。

A. 【生理検査研究班】

今年度もWeb研修会を中心に行い、更に充実した内容を配信していきます。ただ、残念ながら実技講習会を2年間実施できず、超音波は実技が無ければ講義だけでは伝える事の出来ない超音波のテクニックなど、今年度は環境が整いましたら是非行いたいと考えております。

Web研修会 6回
Web講演会 1回
実技講習会 1回
会場: 京都保健衛生専門学校など
連絡先: 京都市立病院 山田 雅

B. 【輸血検査研究班】

輸血検査研究班では、安全で適正な輸血療法を行うために必要な輸血検査の基礎知識から最新の知見や動向を取り入れた内容を企画します。輸血検査に関しては、近年、全自動輸血検査装置の普及により的手法(試験管法)での機会が減少しつつあります。しかし、機器の故障や予期せぬ反応に遭遇した場合は用手法で実施することになります。コロナ禍で2年間開催できなかった実技講習会の実施を考えています。京都府下の技師の輸血検査向上に貢献できる研修会を企画します。

Web研修会 3回
Web講演会 1回
会場: 京都保健衛生専門学校など
連絡先: 京都南病院 日下部 昌平

C. 【臨床化学・血清検査研究班】

研修会は臨床化学免疫血清に携わって間もない技師でも気軽に参加できる研修会を実施します。8月のサマー研修会はWebハイブリッド形式にて臨床化学の基礎、データ判読、トピックスを含めた幅広い内容にします。2月の実技研修会(みやこ研修会)では、用手法で分析の基礎を学べる研修会を予定していますがコロナの感染状況を鑑みながら開催の可否を決定します。

Web研修会 5回
実技講習会 1回
会場: 京都保健衛生専門学校など
連絡先: 京都大学医学部附属病院 岡崎 一幸

D. 【血液検査研究班】

血液検査研究班では血液疾患や血液学検査、凝固・線溶検査などを基礎から最新の話題まで幅広く学ぶことができる講演会や、講師・参加者全員で活発なディスカッションを行う症例検討会を企画いたします。また、COVID-19の影響で2年間開催することが出来ない、血液形態学の基礎を学ぶ顕微鏡実習(実技講習会)につきましてもWebにて開催いたします。

Web講演会 2回
実技講習会 1回
会場: キャンパスプラザ京都など
連絡先: 京都第二赤十字病院 田辺 祐也

E. 【病理・細胞検査研究班】

新型コロナウイルス感染症対策を十分に行い、会場参加型、ハイブリッド型、Web型を固定せず、柔軟に対応し、病理・細胞検査に必要な知識や技術の習得、向上を目指し、研修会・講演会・実技講習会を設定します。病理・細胞検査の横断的な内容やマネジメントを含めた総合的な能力の習得、他府県やメーカー、他職種領域とも連携し、新しい情報・知識・技術も取り入れられるような先進的な企画を考えます。開催日や会場は、できるだけ多くの方が参加しやすいよう考慮し、活発な活動を行います。

Web研修会 3回
Web講演会 1回

実技講習会 1回
会場: 京都保健衛生専門学校など
連絡先: 京都第一赤十字病院 久保 喜則

F. 【一般検査研究班】

今年度も基礎講習会として一般検査に関する形態学を中心とした研修会を企画致します。形態に関する知識だけではなく、日常業務に役立つ有用な情報、最新的话题を提供していきます。

Web研修会 5回
会場: 京都保健衛生専門学校など
連絡先: 京都第二赤十字病院 藤内 千歳

G. 【微生物検査研究班】

世界的に問題となっている新型コロナウイルスだけでなく、AMRやASに対応できるよう最新の情報を発信できる研修会や、感染症診断・治療に役立つ臨床とのコラボレーション企画、医療関連感染対策、感染対策地域連携に貢献できる幅広い知識を得られるような学術活動を目指します。京都府下から認定微生物検査技師をより多く輩出できるよう実践に即した研修内容にし、知識と技術を確実に習得できるWebでの研修会や実技講習会を行います。

Web研修会 3回
Web講演会 2回
実技講習会 1回
会場: 京都保健衛生専門学校など
連絡先: 京都府立医科大学附属病院 山田 幸司

H. 【情報システム研究班】

昨今の臨床検査業務は、検査技術の習得も重要なことですが、検査のオーダーを受けて検査結果を返すまでの一連の流れの中に情報システムの存在が少なからず必要なこととなってきています。臨床検査の重要性が高まるにつれ、大量のデータを効率的に扱うことについても、情報システムの担う役割は大きいものとなっています。情報システム研究班では、それらの様々な情報をシステムの力によっていかに利用していくかについて、研修会を開催する予定です。また、研修会の情報や、臨床検査に関する最新の知見をお知らせするメールマガジンを、引き続き毎週会員のみなさまに配信いたします。

Web研修会 1回
会場: 京都保健衛生専門学校など
連絡先: 京都大学医学部附属病院 増田 健太

I. 【遺伝子検査研究班】

2021年度は「新型コロナウイルスの変異株について」などの実践的な内容や、アフターコロナを見据えて「精度管理」や「各分野の遺伝子関連検査の今後」に関する勉強会を行いました。2022年度は、外部精度管理調査で実施したアンケートの結果を踏まえてた内容を検討し、各施設に還元できる研修会を提供していきます。また、遺伝子関連検査の最新知見などの情報提供も行っていきます。

Web研修会 2回
Web講演会 1回
会場: 京都保健衛生専門学校など
連絡先: 京都第一赤十字病院 白井 洋紀

J. 【北部検査研究班】

研修会は各分野の基礎的な知識や技術、最新的话题や興味のある内容で、会員が参加しやすい研修会を企画します。また情報を的確に捉え、各会員、各施設が共有できる話題を提供します。

Web研修会 4回
Web講演会 1回
会場: 綾部市立病院、ハピネス福知山など
連絡先: 丹後中央病院 園田 真之

K. 【南部研究班】

昨年度もコロナ禍のため生理研究班や奈臨技との合同研修会が開催できず、Webでの研修会を行いました。今年度も引き続きWebでの研修会を中心に活動するとともに、会場での開催も出来ればと考えております。南部研究班は昨年度開催できなかった生理検査・検体検査分野における基礎的な知識の習得および最新的话题や興味ある内容で研修会を企画いたします。京都府南部の施設に勤務されている方の情報共有の場になるような活動を行うとともに、Web研修会では利点を生かして南部地区以外の方

も参加も歓迎いたします。

Web研修会 2回
現地研修会 1回
会場: 京都山城総合医療センター 宇治徳洲会病院 田辺中央病院など
連絡先: 田辺中央病院 馬場 昭好

L. 【チーム医療研究班】

医療人としての総合力を向上させ、チーム医療の一員として存在感を示せる臨床検査技師を目指します。検査データから病態を読み解くR-CPC研修会や、救急・内視鏡・病棟業務などタスクシフトに関する研修会、他職種から学ぶ実技講習会など、専門分野や職種の垣根を超えて幅広く学び、知識と技術を向上させる研修会を企画していきます。

Web研修会 3回
Web講演会 1回
実技講習会 1回
会場: 京都保健衛生専門学校 など
連絡先: 京都大学医学部附属病院 齊藤 祐巳子

4. 広報事業

4-1会誌

会誌 2022.Vol.49「令和4年度総会号」(令和4年7月20日発行予定)

4-2会報(ニューズレター)

年3回発行を予定しています。

4-3ホームページ

京臨技主催の研修会情報や関連団体の行事に関する最新情報を迅速に掲載します。また、研修会参加の際に、スマートフォンの画面に表示して会員資格を証明するデジタル会員証システムにて、会員への便宜をはかります。

会員からのお問い合わせについては、「お問い合わせフォーム」から送信いただければ、担当理事から迅速に回答いたします。

4-4メールマガジン

発行数が1000号を超えたメールマガジンについて、引き続きほぼ毎週の発行を予定しています。

5. 会員向け啓発事業

5-1定時総会

新型コロナウイルス感染症の感染対策を行ったうえで、京臨技定款に沿って、今年度も定時総会を開催します。

5-2新入・転入会員研修会

例年恒例となっている新入・転入会員研修会を開催いたします。

昨年は完全Web配信での開催にもかかわらず60名以上の参加があり大変盛況な研修会でしたので、今年度も日臨技運営説明、京臨技運営説明、そして昨年も好評だった「日直・当直時に知っておくと役に立つ知識」について各研究班から基礎的な知識や注意事項などを講演していただき、新入会員だけでなく多くの参加者にも明日から使える知識がたくさん得られる研修会の開催を目指す事といたします。

5-3京臨技北部学術発表会

2年連続コロナの影響により開催する事ができませんでした。北部の若手技師の為の登竜門として、今年こそは開催したいと考えております。

5-4施設連絡責任者会議

今年度も、技師会の活動報告とその時々医療情報を話題に取り上げ、施設連絡責任者の方々と情報交換ができる貴重な機会となるよう企画します。

5-5京都病院学会

京都の医療を支える活動の一環として、また他部門の業務を理解する貴重な行事として、今年度も京臨技より参加・協力していきたいと考えます。

5-6地域ニューリーダー育成研修会・初級職能開発講習会

今後の社会情勢や臨床検査分野で活躍するため、人材育成やコミュニケーション力を学ぶことが必須と考えています。日臨技・京臨技の組織も未来へつなぐため、会員一人ひとりに持ってほしいアイデンティティやビジョンをより具体化してもらい、その価値を生み出してほしいので、日臨技と歩調を合わせる形で、中堅世代の参加を促し、将来の臨床検査技師会を背負う人材育成、若い世代からの人材確保・育成を目的として初級職能開発講習会の開催を検討します。

5-7第3回京都医学検査学会

臨床検査の発展や研究発表を行うこと、技師間の情報交換・初級者の育成企画などを通じて職能団体の資質の向上、発展に寄与することを目的として開催します。令和4年2月23日(火・祝) 第3回京都医学検査学会の参加よろしくお願ひします。

5-8タスクシフト実技研修会

昨年度に医療法が一部改正され、新たに実施できる項目が追加されました。そのうち10項目を行う場合厚労省指定研修会の受講を受けなければならないとされ、日臨技が請負い、各都道府県技師会が開催する事となりました。今年度は6回の開催を目標に実施いたします。

6. 共催・後援・協力事業

昨年度同様に共催・後援・協力事業共に会員利益を前提に積極的に取り組みます。

7. 総務事業

従前のおり、会の組織力を強化するために会員数の増加を目指します。そのために研究講習事業をバックアップする目的もあり、Web関連の機器の導入やホームページの改定をいたします。また会計処理については外部委託を継続し、法人の公益性を追求、公益目的支出計画に準じた会計処理をいたします。